

【表紙】

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成23年11月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第26期第1四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日） |
| 【会社名】 | 株式会社フュージョンパートナー |
| 【英訳名】 | Fusion Partners Co. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 田村 健三 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都渋谷区渋谷3丁目12番22号 渋谷プレステージ |
| 【電話番号】 | 03-6418-3898 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役経営管理本部長 木下 朝太郎 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都渋谷区渋谷3丁目12番22号 渋谷プレステージ |
| 【電話番号】 | 03-6418-3898 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役経営管理本部長 木下 朝太郎 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第25期 第1四半期連結累計期間 | 第26期 第1四半期連結累計期間 | 第25期 |
|------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成22年7月1日 至平成22年9月30日 | 自平成23年7月1日 至平成23年9月30日 | 自平成22年7月1日 至平成23年6月30日 |
| 売上高 (千円) | 315,915 | 411,236 | 1,350,806 |
| 経常利益 (千円) | 38,587 | 49,675 | 211,055 |
| 四半期(当期)純利益 (千円) | 69,154 | 36,744 | 135,846 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 67,029 | 42,825 | 144,242 |
| 純資産額 (千円) | 1,272,867 | 1,379,772 | 1,379,874 |
| 総資産額 (千円) | 1,543,406 | 1,741,331 | 1,722,711 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | 513.49 | 263.07 | 988.19 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 82.5 | 79.2 | 80.1 |

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含んでおりません。
- 3 第25期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、新たに締結した重要な契約は次の通りであります。

コンテンツ使用許諾契約

| 契約会社名 | 相手方の名称 | 国名 | 契約締結日 | 契約内容 | 契約期間 |
|--------------|-----------|----|-----------|--|-------------------------|
| 株式会社ニューズウォッチ | ウィキメディア財団 | 米国 | 平成23年7月1日 | フレッシュアイペディアにおけるウィキペディアコンテンツのリアルタイムデータの使用許諾 | 平成23年7月1日から平成25年6月30日まで |

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当企業集団は、事業の選択と集中を推進し、経営資源の効率化による企業価値の向上に努めました。

SaaS/ASP事業及び言語処理関連事業が好調な滑り出しとなり、当第1四半期連結累計期間の売上高は411百万円(前年同期比30.2%増)、営業利益は56百万円(前年同期比50.7%増)となりました。経常利益は、営業外費用として出資先投資事業組合にて運用損7百万円等が発生したため、49百万円(前年同期比28.7%増)となりました。

なお、四半期純利益につきましては、当第1四半期では繰延税金資産の取り崩しが12百万円発生しているため、36百万円(前年同期比46.9%減)となりました。

セグメント別の状況は以下の通りであります。

SaaS/ASP事業

SaaS/ASP事業につきましては、デジアナコミュニケーションズ(株)が提供する検索結果に画像が表示されるサイト内検索サービス『i-search』の導入実績も増加し、当第1四半期では新たに東急不動産(株)、(株)ぐるなび、(株)ニューオータニ等に導入され、順調に推移しております。

Webサイト上での「よくある質問」の管理や社内情報共有管理ツールとして提供されている『i-ask』は、当第1四半期では新たに(株)ハウスメイトパートナーズ、NECビッグロブ(株)等に導入され、累計導入実績が50社を超えました。

更に、(株)インターネットイニシアティブ(IIJ)等には、総合マーケティングツール『i-entry』が導入されました。

なお、『i-search』、『i-ask』、『i-entry』の3サービスにつきましては、当第1四半期において「ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度」の認定を取得しました。

また、当第1四半期において、新たなSaaS/ASPサービスであるサイトプリントサービス『i-print』や商品サイト管理システム『i-catalog』の提供を開始いたしました。

『i-print』は、Webページをワンステップでイメージ通りにPDF化できるサービスであり、『i-catalog』は、商品ページの作成、公開、更新が一元で管理可能な、商品紹介ページ管理システムです。

月額固定サービスの特質である毎月の積み上げにより、売上高は累積的に増加しており、その結果、当事業における売上高は206百万円(前年同期比23.5%増)と順調に推移いたしました。

言語処理関連事業

言語処理関連事業につきましては、(株)ニュースウォッチが、新たな事業収益体制の構築に向けた諸施策を迅速に実施してまいりました。

同社は、企業及び個人向けニュース配信・検索サービス、サイト内検索サービス、情報ポータルサイト『フレッシュアイ』の運営等、独自の自然言語処理・フィルタリング技術及びインターネット検索技術を活用したサービスを提供しております。

当第1四半期では、同社の運営する『フレッシュアイモバイル』を中心としたモバイルサイトの広告売上が堅調に推移するとともに、スマートフォンへの対応として最適化表示を行うことで、収益化が進んでおります。

また、大手メディアサイトにおいて、当社のフレッシュアイペディアのコンテンツを利用したペディアプラスが導入されました。

その結果、当事業における売上高は171百万円となりました。

データベース事業

データベース事業につきましては、データベース・コミュニケーションズ(株)の基幹データベース管理システム『M204』の売上は、大手金融機関向けのメインフレームプロダクトが前期に終了したことにより、18百万円となり、前年同期比で44百万円の減少となりました。

また、特許管理システム『PatentManager』の売上は14百万円となり、前年同期比で3百万円の増加となりました。

その結果、当事業における売上高は33百万円(前年同期比55.9%減)となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 598,116 |
| 計 | 598,116 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年9月30日) | 提出日現在発行数 (株) (平成23年11月14日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|--|----------------------------------|------------------------------------|--------------------|
| 普通株式 | 149,539 | 149,539 | 大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 当社は単元株制度は採用していません。 |
| 計 | 149,539 | 149,539 | - | - |

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成23年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成23年7月1日～ 平成23年9月30日 | - | 149,539 | - | 1,133,011 | - | - |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

| 区分 | 株式数（株） | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|--------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式（自己株式等） | - | - | - |
| 議決権制限株式（その他） | - | - | - |
| 完全議決権株式（自己株式等） | 普通株式 9,863 | - | - |
| 完全議決権株式（その他） | 普通株式 139,676 | 139,676 | - |
| 単元未満株式 | - | - | - |
| 発行済株式総数 | 149,539 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 139,676 | - |

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が27株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数27個が含まれております。

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 （株） | 他人名義 所有株式数 （株） | 所有株式数 の合計 （株） | 発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合（％） |
|---------------------|---------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| 株式会社 フュージョンパートナー | 東京都渋谷区渋谷3 -12-22 | 9,863 | - | 9,863 | 6.59 |
| 計 | - | 9,863 | - | 9,863 | 6.59 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽ASG有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 633,601 | 643,757 |
| 受取手形及び売掛金 | 191,130 | 213,212 |
| 有価証券 | - | 60,003 |
| その他 | 98,622 | 50,689 |
| 流動資産合計 | 923,354 | 967,662 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 45,576 | 42,587 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 328,474 | 319,781 |
| その他 | 6,986 | 6,350 |
| 無形固定資産合計 | 335,460 | 326,132 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 126,148 | 115,387 |
| 繰延税金資産 | 236,230 | 231,411 |
| その他 | 56,054 | 58,244 |
| 貸倒引当金 | 114 | 94 |
| 投資その他の資産合計 | 418,319 | 404,949 |
| 固定資産合計 | 799,356 | 773,668 |
| 資産合計 | 1,722,711 | 1,741,331 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 25,429 | 38,714 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 40,000 | 40,000 |
| 未払法人税等 | 8,826 | 1,455 |
| その他 | 124,026 | 147,665 |
| 流動負債合計 | 198,282 | 227,835 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 140,000 | 130,000 |
| その他 | 4,554 | 3,723 |
| 固定負債合計 | 144,554 | 133,723 |
| 負債合計 | 342,836 | 361,559 |

| | 前連結会計年度 (平成23年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,133,011 | 1,133,011 |
| 資本剰余金 | 661,498 | 661,498 |
| 利益剰余金 | 124,965 | 123,139 |
| 自己株式 | 297,678 | 297,678 |
| 株主資本合計 | 1,371,865 | 1,373,691 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,008 | 6,080 |
| その他の包括利益累計額合計 | 8,008 | 6,080 |
| 純資産合計 | 1,379,874 | 1,379,772 |
| 負債純資産合計 | 1,722,711 | 1,741,331 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 315,915 | 411,236 |
| 売上原価 | 165,618 | 186,017 |
| 売上総利益 | 150,297 | 225,218 |
| 販売費及び一般管理費 | 112,764 | 168,641 |
| 営業利益 | 37,532 | 56,576 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 217 | 138 |
| 有価証券売却益 | 1,074 | - |
| その他 | 293 | 1,501 |
| 営業外収益合計 | 1,585 | 1,639 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 54 | 710 |
| 投資事業組合運用損 | 469 | 7,511 |
| その他 | 5 | 319 |
| 営業外費用合計 | 530 | 8,541 |
| 経常利益 | 38,587 | 49,675 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 38,587 | 49,675 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,308 | 828 |
| 法人税等調整額 | 32,874 | 12,102 |
| 法人税等合計 | 30,566 | 12,930 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 69,154 | 36,744 |
| 四半期純利益 | 69,154 | 36,744 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 69,154 | 36,744 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | 2,125 | 6,080 |
| その他の包括利益合計 | 2,125 | 6,080 |
| 四半期包括利益 | 67,029 | 42,825 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 67,029 | 42,825 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

【追加情報】

| |
|---|
| 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日) |
| (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。 |

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次の通りであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日) |
|---------|---|---|
| 減価償却費 | 3,871千円 | 4,879千円 |
| のれんの償却額 | 2,260 | 8,692 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成22年9月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 26,935 | 200 | 平成22年6月30日 | 平成22年9月30日 | 利益剰余金 |

当第1四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成23年9月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 34,919 | 250 | 平成23年6月30日 | 平成23年9月30日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)2 |
|-----------------------|---------|------------------|-------------------|---------|-----|---------|-------------|-----------------------------------|
| | ASP事業 | データ ベース事 業 | プロモー ション事 業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 167,018 | 76,940 | 71,802 | 315,762 | 153 | 315,915 | - | 315,915 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 1,800 | - | - | 1,800 | - | 1,800 | 1,800 | - |
| 計 | 168,818 | 76,940 | 71,802 | 317,562 | 153 | 317,715 | 1,800 | 315,915 |
| セグメント利益 | 57,660 | 26,823 | 1,680 | 86,164 | 153 | 86,317 | 48,784 | 37,532 |

(注)1 セグメント利益の調整額 48,784千円は、セグメント間取引消去 1,800千円、各報告セグメントに配分して
いない当社の管理部門に係る費用 46,984千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)2 |
|-----------------------|----------------|--------------|------------------|---------|-----|---------|-------------|-----------------------------------|
| | SaaS/ASP 事業 | 言語処理 関連事業 | データ ベース事 業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 206,204 | 171,089 | 33,942 | 411,236 | - | 411,236 | - | 411,236 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 2,240 | 15 | - | 2,255 | - | 2,255 | 2,255 | - |
| 計 | 208,444 | 171,104 | 33,942 | 413,491 | - | 413,491 | 2,255 | 411,236 |
| セグメント利益又は損失() | 79,674 | 27,854 | 5,776 | 113,305 | 11 | 113,294 | 56,717 | 56,576 |

(注)1 セグメント利益の調整額 56,717千円は、各報告セグメントに配分して
いない当社の管理部門に係る費用 56,717千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下の通りであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日) |
|---|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 513円49銭 | 263円07銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 69,154 | 36,744 |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 69,154 | 36,744 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 134,676 | 139,676 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | | |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月11日

株式会社フュージョンパートナー
取締役会 御中

太陽ASG有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 北垣 栄一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 荒井 巖 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フュージョンパートナーの平成23年7月1日から平成24年6月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フュージョンパートナー及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。